

1. グリッドデータバンク・ラボの概要
2. ラボで主に扱う電力データ
3. 電力データ活用の可能性
4. ラボのサービスメニュー
5. 今後の活動
6. ルール整備に関する期待

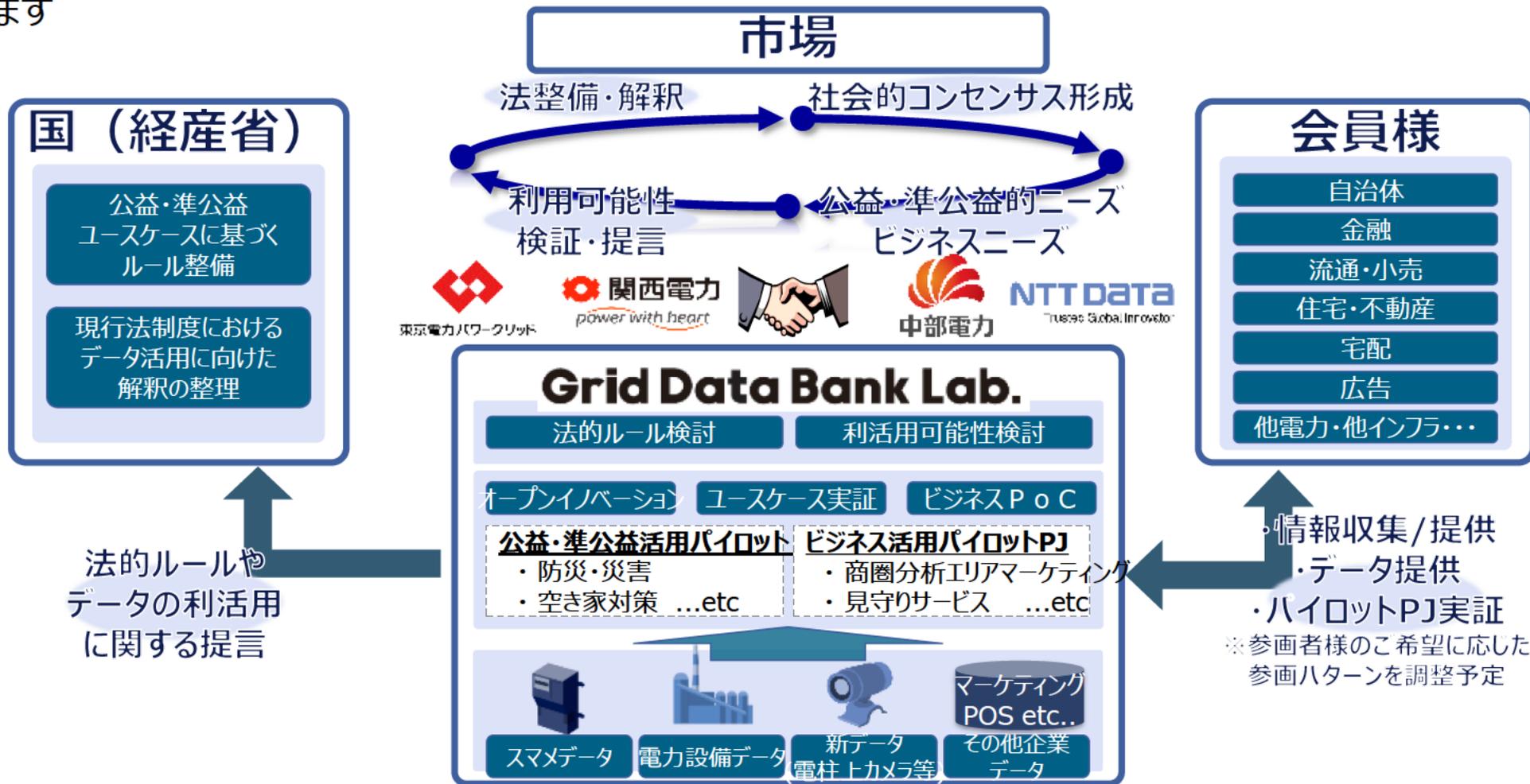
1. グリッドデータバンク・ラボの概要



グリッドデータバンク・ラボの設立



社会貢献・社会問題解決・各業界の産業発展に向け、スマートメータをはじめとした全国での電力設備データ活用を推進する「グリッドデータバンク・ラボ有限責任事業組合」を、2018年11月に東京電力パワーグリッドとNTTデータにより設立、2019年3月に関西電力、中部電力の組合参画を経て現在に至っております



2. ラボで主に扱う電力データ





スマートメーターとは

- ✓ 従来は月 1 回の検針により 1 か月間の総使用量を計測



電力スマートメーター

■ 全国の**全世帯・全事業所**に導入予定

- ✓ 国の「エネルギー基本計画」では、2020年代早期に全国の全世帯・全事業所に導入することを志向
- ✓ 各電力会社が管轄区域で導入を推進



■ スマートメータから得られる

スマートメーター・データを活用

- ✓ スマートメーター・データは設備情報（位置情報）、及び電力量情報（電力データ）から構成

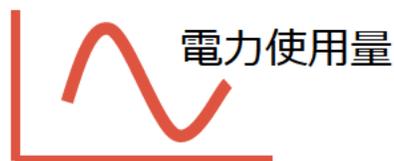
| 区分 | データ項目 |
|------------------|--|
| 設備情報 (SM位置情報) | <ul style="list-style-type: none"> ■ 計器ID / ■ 設置完了日時, 取外完了日時, ■ 住所コード, 都県コード, 市区町村コード, 大字通称コード, 字丁目コード, 街区番地番号, 枝番号, アパート名カナ ■ 経度・経度情報 (度, 分, 秒実数部, 秒小数部) ■ X座標, Y座標 |
| 電力量情報 (電力データ) | <ul style="list-style-type: none"> ■ 計器ID ■ 日付 ■ 潮流区分 ■ 30分使用量×48コマ |

電力スマートメーター2,900万台の電力使用量をもとにした 新たなビックデータ

個人情報



世帯単位



匿名加工処理



個人の識別不可

集計処理

統計情報



本人の同意取得に基づく
パーソナルデータ活用

個人を識別できない形で
プライバシーを保護

エリア単位の集計

① 高い鮮度

当月の世帯数を把握することが可能。

月ごとの世帯数などの遷移を把握することで“街の変化”をタイムリーに把握できる。

2015年 国勢調査 (世帯数)

駅前の再開発 etc. マンション建設

2018年4月(現在) スマメ統計 “街の変化”を捕捉

③ 柔軟なエリア(商圈)設定が可能

スマートメーターデータは、ポイントデータで保持しているため、利用シーンに合わせた柔軟なエリア設定が可能。

円商圈 道路商圈

国勢調査 住民基本台帳

比較 スマメ統計

国勢調査や住民基本台帳は、メッシュや町丁目単位でしか保持していない

② 高い精度

エリアで生活をしている“リアル”な世帯数を把握できる。

住民基本台帳では把握できない住民票を出していない住民も世帯も把握できる。

住民基本台帳 比較 スマメ統計

2018年4月 2018年4月

“リアル”な世帯数を捕捉

单身赴任、下宿生等は、住民票を提出していないことがある

④ 30分毎の時間傾向分析が可能

昼間の在宅傾向、帰宅ピークの時間帯など、従来は定量的な把握が困難であった、時間帯別の外出や帰宅などの世帯活動を把握できる。

帰宅時間世帯数(平日)

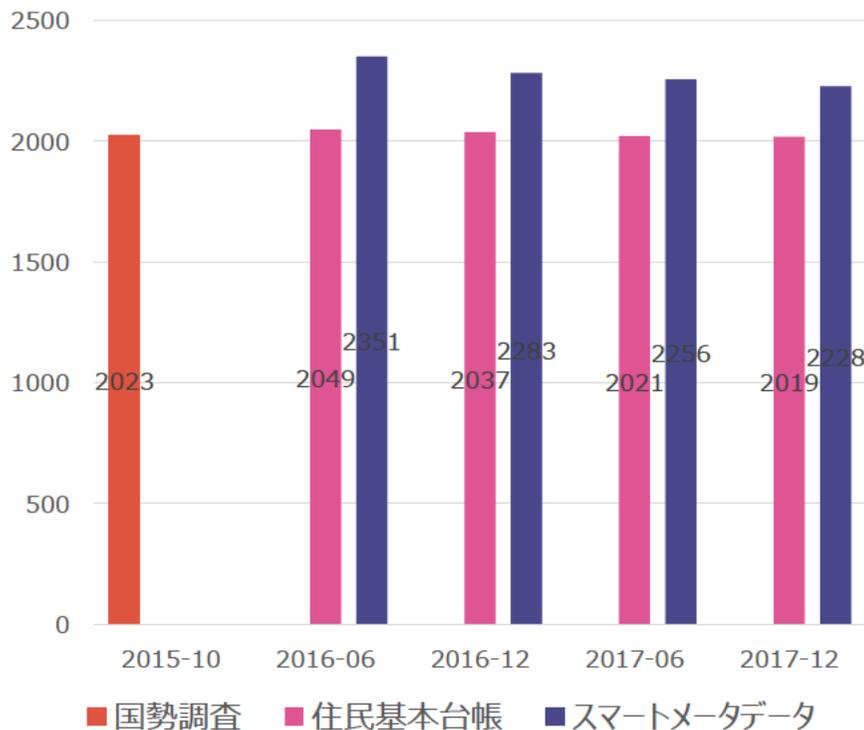
帰宅時間世帯数(休日)

(参考)国勢調査・住民基本台帳とスマートメータ統計データとの比較

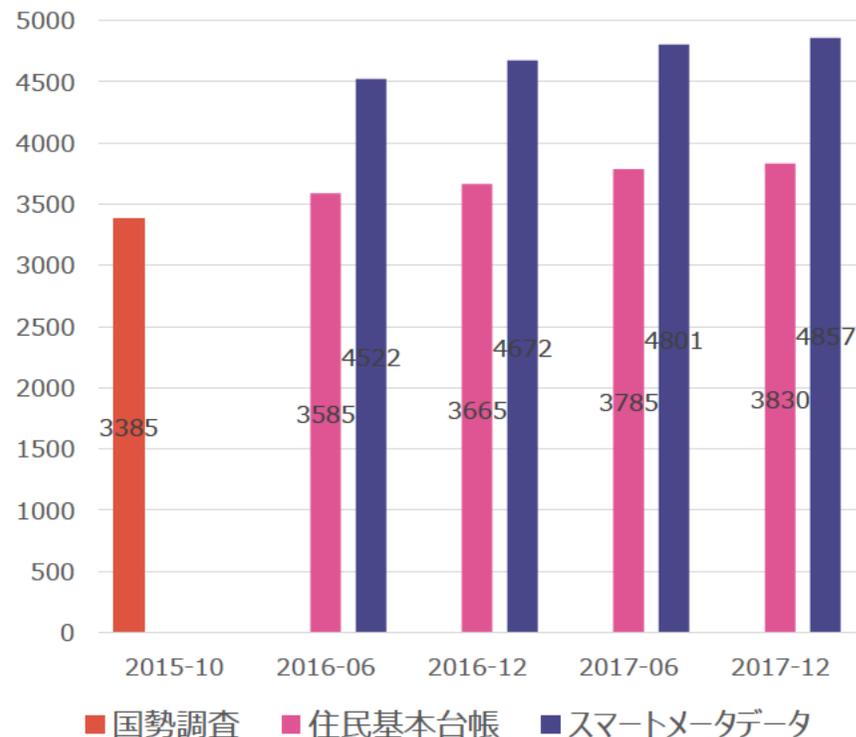
スマートメータデータは、国勢調査・住民基本台帳で把握できない世帯を把握できる。

蒲田3丁目で平均13%、早稲田鶴巻町で平均21%スマートメータ統計データで把握した世帯数が多くなっている。

国勢調査・住民基本台帳との世帯数の比較 (蒲田3丁目)



国勢調査・住民基本台帳との世帯数の比較 (早稲田鶴巻町)

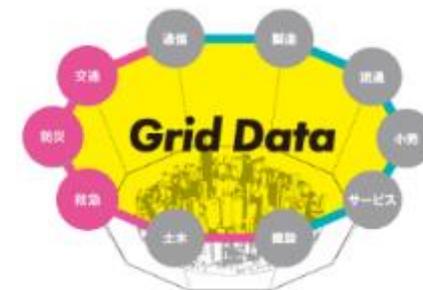


3. 電力データ活用の可能性



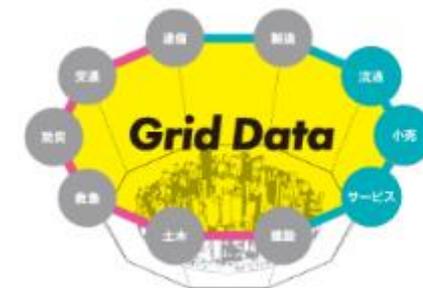
防災地域の生活実態を踏まえた最適な復旧計画

- ・災害エリア、復旧状況、避難ルート、避難所の把握
- ・物資調達など防災計画の検討



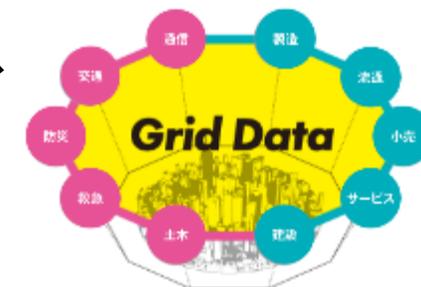
店舗周辺の生活動向を把握した売上予測の精度向上

- 出店エリアの周辺環境、ターゲットの分析
- 営業時間、店舗形態など運営計画の検討



日々の暮らしに更なる安心、豊かさをもたらす新サービス

離れて暮らす大切な人を近くに感じることのできる
誰もが使う電気を活かした新しいコミュニケーションサービスのかたち



4. ラボのサービスメニュー





Showroom 〈発見〉

各種セミナーやデモ等
電力データ活用に関わる情報提供

Market Place 〈交流〉

様々なデータと
会員どうしを繋げる場を提供

Business Design 〈実証〉

電力データを活用した
ビジネスプロセス変革や新規サービス創出

Incubation Support 〈共創〉

電力データを活用した
新しいサービスアイデアを共創

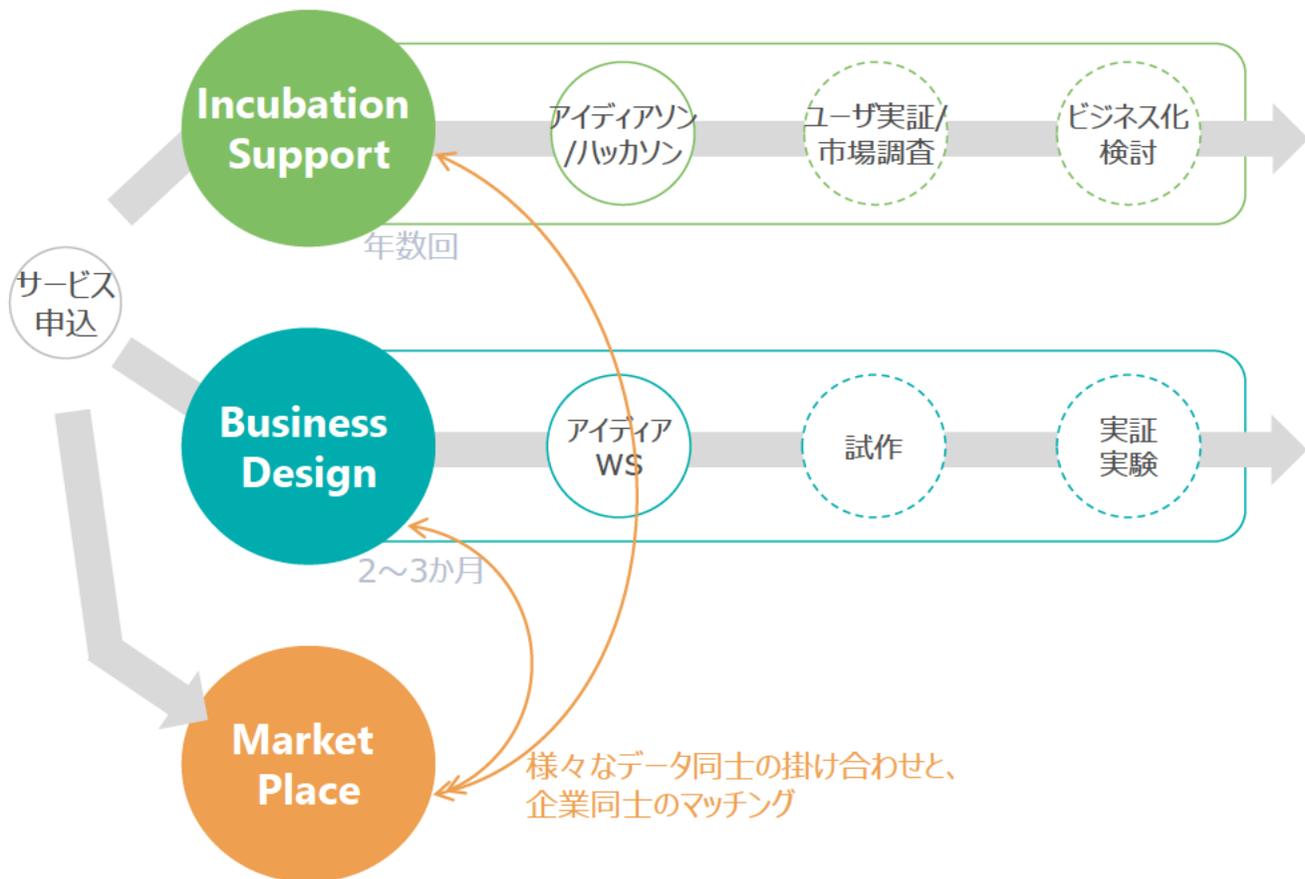
一般向けサービス

- ショールーム(オープンスペース)に来場いただき、LABのサービスをご紹介。



会員向けサービス

- 高セキュリティプロジェクトルームにおいて会員企業向けに3つのサービスを提供。
(一部、有償での提供)

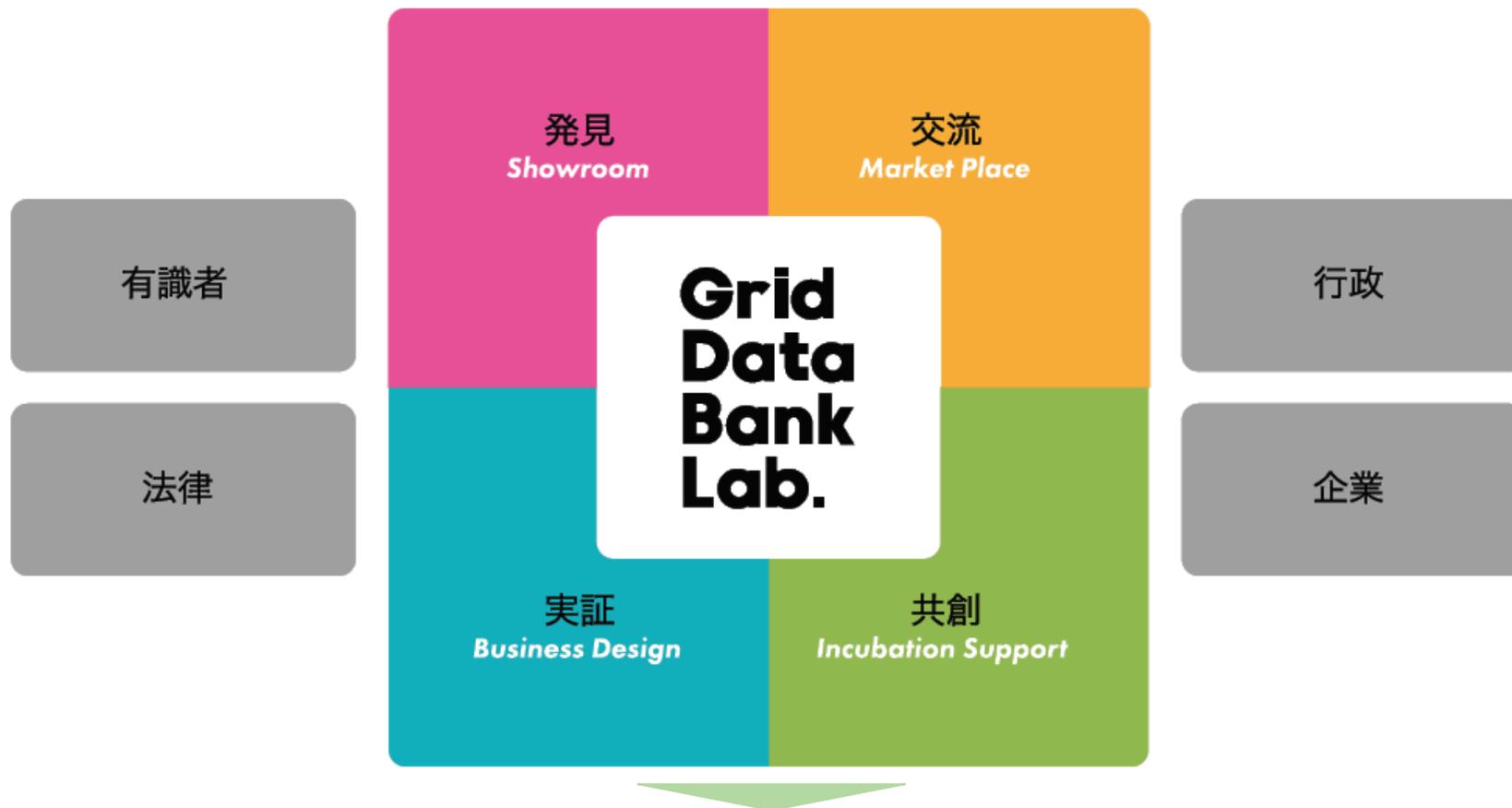


5. 今後の活動



データ活用のタネを生む「気づき」「発見」がある場所として、オープンイノベーション環境を備えたラボ兼オフィスの開設をいたしました。





**安心・安全にスマートメーター・データを活用し、
社会に対して新しい価値を還元できる事業を創出**

6. ルール整備に関する期待





ルール整備に関する期待

①個人および匿名加工情報の利用

利用者保護・競争環境の担保を前提として、個人に関わる情報の提供・利用を可能とする。

②個人情報利用時のパーミッションに関わるルール整備

①の環境整備を前提として、個人に関わる情報の提供に関しては、本人からの依頼に基づき、第三者提供も含め送配電事業者が情報提供を管理することを可能とする（※）。

また、パーミッションの取得やデータ提供においては、電子的な手続きの採用により、データ提供・利用の利便性向上を図る。※Green button、「私書箱」方式のイメージ

③データ提供の標準化

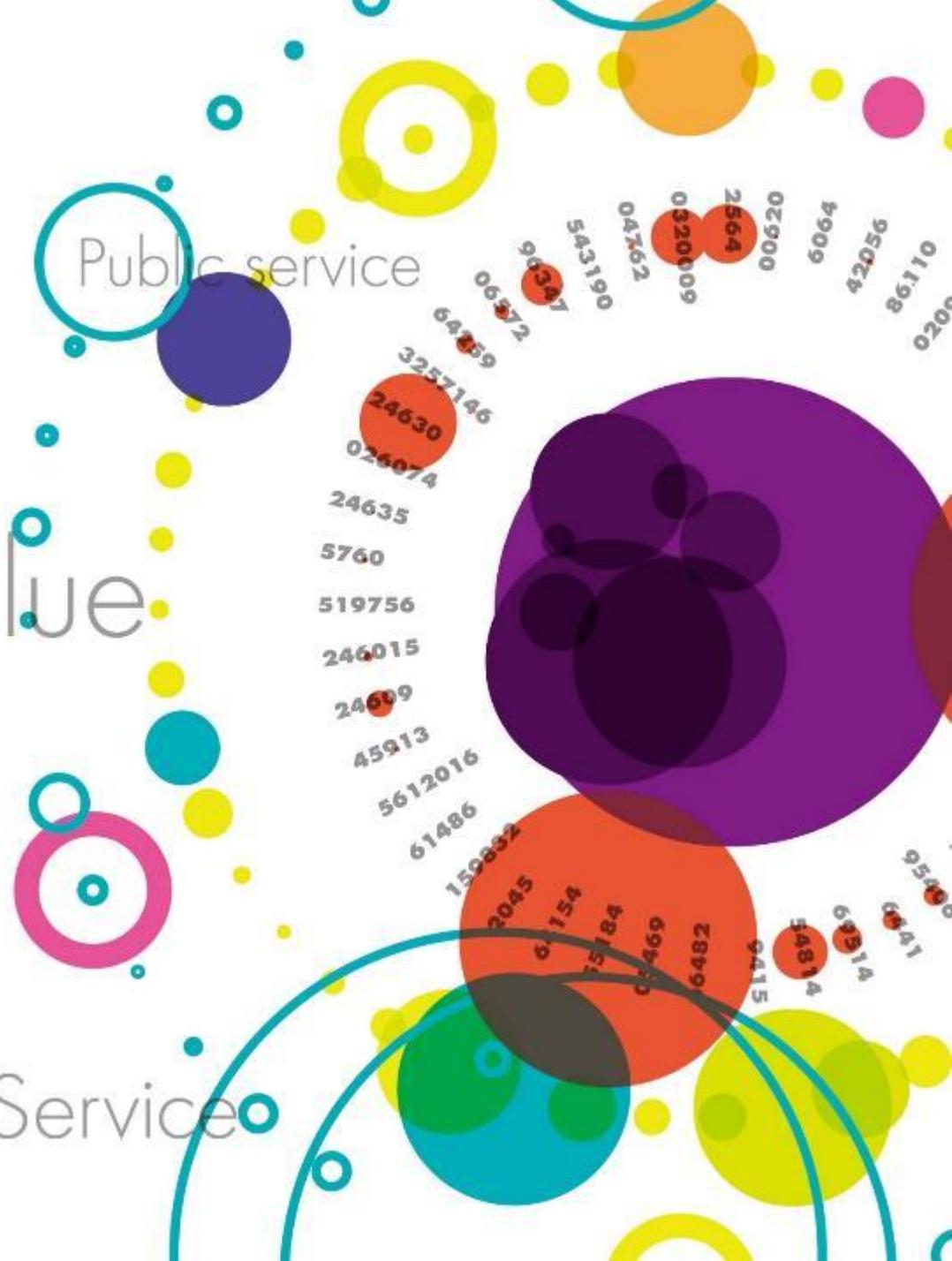
データ保有者から提供されるデータについては、利用の観点から最低限必要とされる情報については、極力その粒度や形式が業界内で標準化されていることが望ましい。

Grid Data Bank Lab.

Value

Service

Public service



02900
6064
956
42056
86110
0200
01319
54319
99347
06372
64859
3257146
24630
026074
24635
5760
519756
246015
24609
45913
5612016
61486
159832
2045
61154
75184
6882
9415
54814
69314
6641
9500